

建設産業常任委員会

5月17日～19日(所管事項調査)

一 高知県香美市

「鳥獣被害対策について」

香美市では、有害鳥獣の捕獲と被害防止柵の設置推進を図り、被害軽減の取り組みをしている。防護柵については、設置の経費に対し補助を行い有害獣による被害に対して一定の成果が出ている。また集落ぐるみで被害防止活動等の講習会を開催し、被害防止対策の普及に努めている。

三 高知県南国市

「地産地消について」

南国市では、「南国市こめ地産地消の会」が結成され、生産者の顔が見える活動を展開しているほか、地元食材を生かした味を守り伝え研究をしているグループが郷土料理の伝承などの活動をしている。また棚田米を学校給食に導入しているほか、野菜などについても、可能な限り地産地消を目指している。

二 れいほく田舎暮らしネットワーク(高知県土佐町)

「移住支援・人口減少対策について」

れいほく田舎暮らしネットワークでは、嶺北地域の過疎高齢化に伴う人口減少を食い止めるようと、平成19年にボランティアの移住支援団体として発足した。主に移住の促進とコーディネート、移住後の暮らしのフォロー、現地の空き家紹介、住居探しのサポートを行っている。



南国市役所にて

文教常任委員会

5月23日～25日(所管事項調査)

一 国際子ども図書館

「国際子ども図書館について」

国内外の児童書に関する図書館サービスを国際的な連携のもとに行う国立の児童書専門図書館として、豊富な資料と情報資源を活用し、子どもに関わる活動や調査研究を支援することにより「子どもの本は世界をつなぎ、未来を拓く」を理念に各種事業に取り組んでいました。

三 北海道教育大学

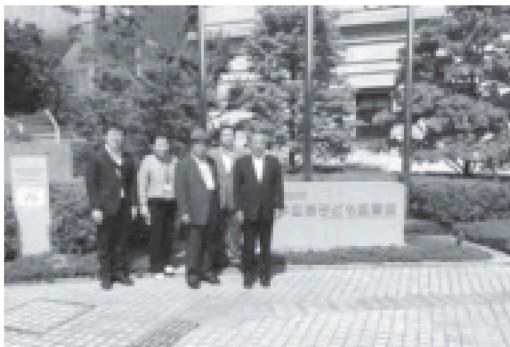
「小規模校について」

北海道では、札幌市の中心部を除いては過疎化が進んでおり、ほとんどが小規模校等の小さな学校となりました。北海道教育大学では、教育実習等により、小規模校等のデメリットとして指摘される事象が、実はほとんどが逆に教育に関してのメリットであることなども詳細に実証されていました。

二 北海道札幌市

「校務支援システムについて」

きめ細やかな教育の実現及び教育の質の向上を目指し、教職員員の校務負担を軽減することを目的として、いち早く校務支援システムを導入しました。これにより、教職員の多忙感の解消、児童生徒と向き合う時間や授業準備時間の確保及び児童生徒個人の日常の様子などを全職員が共有し組織的に対応することに取り組んでいました。



国際子ども図書館の前にて

永年在职議員の表彰

全国市議会議長会より永年在职議員の表彰があり、第2回市議会定例会初日に表彰伝達式が行われました。

(15年表彰)

千保一夫 議員

